

兵庫県のり漁場環境情報 (淡路周辺海域 16号)

平成29年3月28日発行
兵庫のり研究所

窒素は淡路西浦および南浦で1~2 $\mu\text{g at / L}$ 台、淡路東浦で1 $\mu\text{g at / L}$ 前後の値でした。大阪湾に面する東浦北部漁場において、小型珪藻のスケルトネマが確認されました。それ以外の海域においては前回(3/16)調査同様、珪藻はほとんど確認されませんでした。

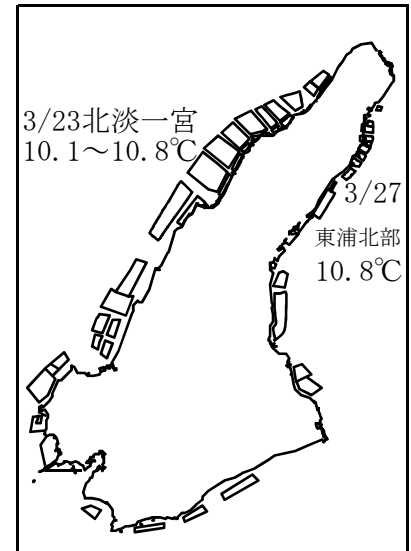
(珪藻) 今週始めの神戸地先採水調査においてスケルトネマが多く(海水1mlあたり2000~3000細胞)確認され、今回調査の淡路東浦の北部漁場でも確認された(海水1mlあたり500~700細胞)。この海域において窒素は概ね1 $\mu\text{g at / L}$ を示しているが、これは夜光虫由来によるアンモニア態窒素の値と考えられ、実質値は前回(3/14)調査値同様の低い値であると思われる。淡路東浦の南部漁場および淡路西浦・南浦海域では珪藻はほとんど確認されないが、栄養塩の供給がないため窒素は低い値が続いている。

		前回値	今回値	平年値	昨年値
東浦地先	窒素	1.0	1.6	2.7	3.1
	リン	0.22	0.16	0.22	0.26
西浦地先	窒素	1.8	1.3	1.9	2.1
	リン	0.32	0.27	0.27	0.23
南浦地先	窒素	1.9	1.8	2.7	3.3
	リン	0.33	0.30	0.27	0.26

(3/16)

(3/下旬)

水温図



栄養塩(窒素)図

平成29年3月28日調査

